

平成27年度 地域振興会議開催スケジュール（案）

地域振興監・地域振興課

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上旬												
中旬												
下旬	合同会議 辞令書交付 地域振興 会議 4/24	地域振興会議（単独または合同開催） 5/8 ~ 5/25		地域振興会議（単独または合同開催）	会議室 地域振興会議（単独または合同開催） 8/10 ~ 8/24		地域振興会議（単独または合同開催）	地域振興会議（単独または合同開催） 11/5 ~ 11/24		地域振興会議（単独または合同開催）	地域振興会議（単独または合同開催） 2/4 ~ 2/19 会議室	

地域振興会議ブロック会議の開催について（案）

【ねらい等】

南ブロック（佐治町、用瀬町、河原町）に共通して関連する課題・問題等の共通認識を図ることで南ブロックの連携を深めるとともに委員相互の交流を推進する。

【開催方法等】

- 1) 南ブロック会議の開催は年1回を基本とし、その他共通議題等が生じた場合に随時開催する。
- 2) 南ブロック会議の幹事は三町が順番に行うこととし、河原→用瀬→佐治とする。
- 3) 平成27年度は8月に開催し、懇親会も実施する。
（議題案：新可燃物処理場問題、山手・布袋地区工業団地関係）
- 4) 次年度以降の開催時期や議題等については、改めて協議して決定する。

※この案は、4月20日（月）に三町の支所長、副支所長で協議して原案を取りまとめたものです。

地域振興会議における共通テーマ・設定のポイント

平成27年4月21日

企画推進部地域振興監

共通のテーマ

【本市を取巻く主な課題】・・・第10次鳥取市総合計画（たたき台）より抜粋

1 地域経済の活性化に向けた課題

- 活力ある地場産業の振興
- 6次産業化や農商工連携による高付加価値化
- 人材の育成・確保

【状況及び背景】

本市の雇用状況は、改善の兆しがみられるものの、都市部に比べ、依然低い水準にある。このような状況の中、本市においては、活力のある地場産業の振興や成長産業の立地、また、農業分野における6次産業化や農商工連携による高付加価値等が求められる。

また、その実現に当たっては、有用な人材の育成・確保が不可欠となる。それらを踏まえて、「第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略」を策定し、鳥取市の経済再生を図り、雇用を創造していくため、「経済再生のための成長産業の創出」、「地域資源活用による産業創出」、「地域課題解決による産業創出」の3つの柱を設け戦略的に取組んでいくこととしており、これらの取組みを強力に進めながら、本市の経済再生や雇用創造により一層取組む必要がある。

2 人口減少と少子高齢化の課題

- 若者の流出防止
- 結婚・妊娠・出産・子育てにおける支援
- 中山間地域の活性化

【状況及び背景】

本市は、平成17年度以降人口が減少に転じており、特に若い世代の人口流出が顕著。現状を踏まえ、暮らす場所としての本市の魅力を高めるため、結婚から子育てまでの絶え間ない支援を行うことで、本市（地域）の魅力を高め、住んでいる住民が地域を愛し、地域に住みたくなるための取組みが必要。併せて中山間地域や中心市街地の特性を活かした活性化の取組みが必要。

3 価値観の多様化に伴う課題

- 地域コミュニティの振興
- 移住・定住の促進

【状況及び背景】

価値観の多様化に伴い、人々の暮らし方も一様ではなくなっている。そういった様々な暮らし方を行う方への対応、また、それに関係して、地域コミュニティの一層の

振興にも取組む必要がある。また、地方への移住を希望する（田舎暮らしにあこがれる）都市部の方に対して、積極的な取組みを行い誘導する必要がある。

4 安全・安心な生活への課題

○豪雨や豪雪、土砂災害等、局地的な自然災害への対応

○総合支所の整備（耐震化等）のあり方

【状況及び背景】

近年、地球環境の変動による気象等の急変がみられ、局所的な災害が発生する事案が増えている。住民生活に重大な影響を及ぼす災害に対処するため、支所等の整備（防災無線のデジタル化を含む）はもとより、市民を含め地域防災力を高める必要がある。

市民の生命・身体・財産等の安心・安全を守るため、自助・共助・公助の体系を構築し、災害に強いまちづくりを推進する必要がある。

5 環境・エネルギー問題への課題

○循環型社会の推進

○環境保全活動の推進

【状況及び背景】

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題や資源枯渇等のエネルギー問題に対応するため、また、本市の誇る豊かな自然環境を未来へ残すため、市民の環境保全意識を高め、循環型社会の推進や環境保全活動を推進していく必要がある。

6 交流と連携の推進への課題

○国内外の交流の推進

○グローバル化への対応

【状況及び背景】

国内や海外との人やモノ、情報の行き来はますます盛んになっており、そのためには交流や連携がさらに必要となっている。併せて、それに対応できる人材育成や基盤整備も必要となる。

鳥取自動車道が平成25年に全通し、移動の利便性は飛躍的に向上している。一方、県内の移動や但馬圏域との移動については未整備の箇所もあり、早期整備へ向け、より一層の働きかけが必要。

支所別の課題・主要テーマ

○地域毎の課題設定においては、新市域振興ビジョンの記載を参照のこと。

鳥取市が新たな時代の諸課題に対応していくための指針として、①地域の人口や世帯数の変化、人々の価値観が多様化 ②地域の現状を認識し課題を解決 ③地域の「個性」や「資源」を最大限に活用した魅力あるまちづくりが重要。

（鳥取市新市域振興ビジョンより）